

**備後圏域内で開発される太陽光電力の相対契約を締結
～再エネ電力調達により域内公共施設のCO2削減に貢献～**

福山未来エネルギー株式会社*1（社長：長谷場洋之、本社：広島県福山市）は、株式会社ウエストホールディングス（社長：江頭栄一郎、本社：広島県広島市）が今後備後圏域*2において新たに開発する太陽光発電所からの電力と環境価値を長期にわたり調達する契約を締結しました。

本契約は、福山未来エネルギーによる、新設の再生可能エネルギー発電所との相対契約による調達の第一号案件となります。本契約に基づいて取引される電力はNon-FIT再生可能エネルギー電気*3であり、福山未来エネルギーが電力を供給する福山市を中心とする備後圏域の公共施設のCO2削減に貢献することが可能となります。自治体が出資する地域新電力会社が新設のNon-FIT再生可能エネルギー電気を相対で契約するこれらの取り組みは、自治体が出資する地域新電力会社において国内初で最大規模*4となります。

発電所が完成する本年8月頃より順次調達を開始し、2021年末の合計調達量は1,500kW(発電所出力)を予定しております。この取組により、CO2排出量が約1,400t/年削減されることとなります。

福山未来エネルギーは、今後も、積極的に地域の再生可能エネルギー発電所を創出するとともに、発電された電力の地産地消を通じて、地域の再エネ電源主力化を推進し、持続可能な社会の実現に貢献してまいります。

*1 福山未来エネルギー株式会社：

JFEエンジニアリング株式会社（社長：大下元、本社：東京都千代田区）、
福山市（市長：枝広直幹）、
株式会社広島銀行（代表取締役頭取 部谷 俊雄）
が出資し設立した地域新電力会社

*2 備後圏域

福山市（連携中枢都市）、三原市、尾道市、府中市、世羅町、神石高原町、笠岡市、井原市の6市2町で構成する圏域

*3 「Non-FIT 再生可能エネルギー電気」

固定価格買取制度（FIT 制度）を活用しないことから、国民負担によらない CO2 排出量ゼロの再生可能エネルギー電気

*4 当社調べ

1. ウエスト HD が開発する小規模太陽光発電設備について

開発所在地	備後圏域内
サイト数	30サイト
合計設備容量（定格出力）	1,500kW

2. 調達太陽光発電設備例



本件に関するお問い合わせは下記にお願いいたします。
福山未来エナジー株式会社 営業部 TEL084-924-3778